



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.4
R5.1.26

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

皆さま今年の冬はどのように過ごされましたか？本年もよろしくお願いいたします。

さて、今年度の包括ケア会議は従来通りの集合形式と、個別事例検討会を開催しています。今回は個別事例検討会議として、社会福祉協議会や介護保険サービス事業所の方々にご参加いただきました。

★支援困難事例について検討しました。

今回検討したのは「子ども達に問題解決意欲がなく支援が困難になっているケース」です。

ご本人には子どもが複数いますが、子ども同士の関係が悪く、同居の子ひとりに負担が集中しています。同居の子は疾患を抱え就労が不安定で、本人の税金等の支払いや日用品の購入ができず、生活環境は不衛生です。見かねた関係者が日用品の購入を代行しています。ご本人の病状が悪いこともあり、ケアマネジャーが子ども達に改善を求めますが、誰も行動せ

ず、家族間で連絡を取り合わないため、ケアマネジャーとしても困っています。

会議では、「包括職員が連携して家族会議の開催を支援してはどうか」「医師と連携して服薬・栄養管理の改善を図れないか」「収入の改善が見込めない場合は生活保護の申請することも必要ではないか」等の意見が出ました。

支援者側もケアマネジャーに負担が集中しないよう、包括職員と連携して対応する方針となりました。

11月の検討事例の経過報告

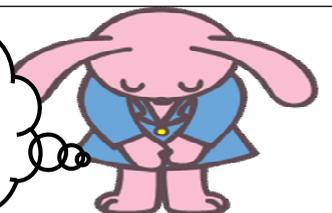
★「障害サービスから介護サービスに移行困難なケース」

障害福祉サービスの利用者が介護保険の認定を受けると介護保険が優先されますが、障害福祉サービスと介護保険サービスは内容に違いがあり、移行が難しい場合があります。本人と障害サービスの計画相談員、ケアマネジャーが話し合いを重ね、慎重に移行することになりました。

 ケアマネージャーさん

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871